

- 2013/10/5 コーヒー 朝、温かいコーヒーが美味しい。でも動くともまだ暑い。じっとしている限りは、暑くなく、寒くなく、ちょうどいい気温。そのせいか、やけに眠い。よく寝ても眠い。熱帯夜で不足ぎみの睡眠を取戻し、冬の寒さを前に睡眠を蓄える。睡眠も一年をとおして考えるといらしい。仕事中のうたた寝も大目にみましよう。
- 2013/10/8 読書の秋

 10月に夏日とは。昨日はしまうはずの夏服をアイロン。この時期に麻を着るなんて。陽射しが強く、空気の感じも夏だった。今日は寒露。とてとてもそんな風情はない。それでも、読書の秋か、文具を買いにいったまま通りがかった平積みの本。タイトルに気がとまった。『流れとかたち』（紀伊国屋書店）。著者のプロフィール、目次をみる。これは買い。たぶん同じことだけど違う切り口を示すような本。後押しを得られる本と期待した。まだ読み出したばかり。予感にあたっけいそう、今のところ。
- 2013/10/12 女性たちの秋 ようやく夏日から解放された。今日は涼しい風。大阪は秋晴れ。三連休の初日。この時期、年末にかけて行事が多い。展覧会から勉強会まで、多種多様な催事が各地で開催。身近でいえば、この春に生まれた女性たちのネットワークが『大女子会@Osaka』（10月18日）開催。クレオ北館では『ちいさな起業で輝く女性のマーケット』（10月19日）。創作活動をする女性たちの『土布紙金属 出雲×大山 四人展』（～10月14日）。わがみちを探り歩む女性たちが社会の隅々にいる。葛藤の姿に凜とした緊張感。なんと魅力的なこと。
- 2013/10/21 美しさ 何かとたて込み、はや10月も下旬。書店では来年の手帳類が本格的に売り出された。早々に買って、来年を展望するのが良し。秋はそういう時機。一昨日の19日、クレオ北館であった「ちいさな起業で輝く女性のマーケット」。いく人かの出店者と交わした会話はまさにそんな内容。試行錯誤をくりかえし、葛藤にさいなまれながらも、未来に馳せる闘志。その姿が美しい。
- 2013/10/24 台風 お昼時、ちょっと日がさしてきたので、台風はどうあたりかと大阪管区気象台のホームページをチェック。そこで気づいたこと、台風にもちゃんと名前がついている。27号は『フランシスコ』、じゃ、28号は？とみると、『レキマー』。へえー、どういう風に決めているのか、ついでに、「台風に関する用語」ページをクリック。いわく、「命名は、気象庁が台風と認めた時、台風委員会が管理する呼名を用い気象庁が行う。呼名は台風に関係するアジアの国など(台風委員会メンバー)から提案された140個からなる名簿を循環的に使用する」。“循環的に”というのがいい。気象を観察するところならではの感。
- 2013/10/26 グランフロントの庭 台風が去り、秋らしく冷たい風。暦の上では晩秋、日もずいぶん短くなっているから、相応。先日、金木犀を見た。花はまだ咲いていなかった。それでも通りすぎる間際かすかに匂った。秋だなあ・・・と思う瞬間。昨夜の帰り、グランフロントの庭を通り抜けながら、金木犀はないかと木々をみる。どうやら春のものが中心。小さな一画だから種類も限られる。開業から半年、散歩するほどの広さもなく、今では通り過ぎるだけ。
- 2013/10/30 晩秋 金木犀が香り、紅葉も始った。日の入りは早く、日の出は遅く。11月も目前、日めくりの厚さは3, 4センチに。手帳の替えもすでに買い、忘年会の日程も一つ決まる。年末まで一気に滑走しつつ、一方で当年をふり返るのにいい晩秋。秋は過去を想う季節。過去を想えば、未来を望む。毎年のことながら、この時期の心の漣感が精神にほどよい緊張感。